

世界遺産一覧表記載物件の保全状況の概要について
(この一年間に保全状況に関連して大きな動きのあったもの)

令和元年5月20日
文 化 庁

【法隆寺地域の仏教建造物】

- ・ 平成30年8月～31年2月にかけて、世界文化遺産登録25周年記念セミナーが開催された。

【古都京都の文化財】

- ・ 複数の構成資産において、大阪北部地震や夏期の豪雨、台風等の災害による被害からの復旧作業を実施している。
- ・ 宇治上神社の緩衝地帯及び隣接地において、民間業者による宅地開発計画があったが、史跡宇治古墳群及び名勝宇治山として指定を行い、保全を図った。
- ・ 今年度より包括的保存管理計画の策定に着手する予定。

【白川郷・五箇山の合掌造り集落】

- ・ 史跡相倉集落及び菅沼集落の保存活用計画の改訂を行っている。

【古都奈良の文化財】

- ・ 興福寺における境内整備事業について、現状変更許可に係る手続きを経た上で、平成30年10月に中金堂が復元された。
- ・ 興福寺北の緩衝地帯において、奈良公園バスターミナルが整備された。
- ・ 平城宮跡南側の県営公園区域（緩衝地帯）において、普及啓発促進のための歴史体験学習館の整備が進められている。
- ・ 平城宮跡東方の歴史的環境調整区域の地下を通過する大和北道路建設事業について、埋蔵遺物保護のための地下水保全対策に向けて地下水涵養試験が実施されている。

- ・ 奈良公園（緩衝地帯）の吉城園周辺地区及び高畑町裁判所跡地の二地区において、宿泊施設を伴う整備事業が進められている。名勝奈良公園の指定地内にも当たることから、現状変更許可に係る手続きを含め、世界遺産に対しても負の影響を与えることのないよう、慎重に検討されている。

【琉球王国のグスク及び関連遺産群】

- ・ 座喜味城跡近傍の歴史民俗資料館・美術館について、世界遺産及び文化財の普及促進等の充実のため、世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアムとして改修された。
- ・ 平成30年夏の台風等の影響により、今帰仁城跡の城壁の一部の崩落したため、災害復旧事業を実施している。
- ・ 玉陵について、平成30年12月に国宝に指定された。また、史跡斎場御嶽について、平成30年9月に参道等を含む部分が追加指定された。

【紀伊山地の霊場と参詣道】

- ・ 平成30年夏期の一連の台風により、参詣道の崩落や倒木等が発生し、復旧作業を実施した。

【石見銀山遺跡とその文化的景観】

- ・ 平成30年4月に発生した島根県西部地震で軽微な被害を受けた文化財の災害復旧事業を実施している。

【平泉－仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群】

- ・ 平泉町祇園地内（緩衝地帯）の高速道路のスマートインターチェンジ建設について、遺産影響評価を踏まえ、資産に対する影響を軽減するように事業者等と協議を継続している。
- ・ 中尊寺境内での建物建替について、遺産影響評価を踏まえ、地下遺構を損傷しない工法及び景観へ配慮した設計へ変更された。
- ・ 緩衝地帯にて計画されている「平泉の文化遺産」ガイダンス施設建設について、遺産影響評価において価値への負の影響は与えないものと評価されて

いるため、計画どおり実施される予定。

- ・ 風力発電等の大型構造物の建設による影響を抑制するため、一関市及び奥州市において景観計画が改定された。

【富士山-信仰の対象と芸術の源泉】

- ・ 平成 28 年の第 40 回世界遺産委員会決議において求められた保全状況報告について、平成 30 年 11 月にユネスコ世界遺産センターへ提出された。
- ・ 情報発信や交流等の拠点として平成 31 年 3 月に三保松原文化創造センターが開館した。

【富岡製糸場と絹産業遺産群】

- ・ 高山社跡の緩衝地帯において、駐車場からのアクセスルート上の人道橋仮橋を本橋へ架け替える計画があり、関係機関及び外部有識者委員会において検討が進められている。
- ・ 富岡市自然環境、景観等と太陽光発電設備設置事業との調和に関する条例が制定され、緩衝地帯内全域での一定規模の太陽光発電の設置事業が許可申請の対象とされた。
- ・ 「富岡製糸場と絹産業遺産群」のガイダンスを行うことを主な目的とした世界遺産センターの整備が進められている。開設時期は平成 30 年度末から平成 31 年度末に延期された。

【明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業】

- ・ 平成 30 年の第 42 回世界遺産委員会において決議された更なる勧告に対応するため、内閣官房と関係自治体が連携して検討を進め、本年 12 月までに保全状況報告書がユネスコ世界遺産センターへ提出される予定。
- ・ 端島炭坑跡や旧グラバー住宅など、複数の資産において保存修理、災害復旧、整備事業が実施されている。
- ・ 恵美須ヶ鼻造船所跡など、複数の資産において発掘調査が実施され又は計画されている。

【国立西洋美術館】

- ・ 平成 30 年の第 42 回世界遺産委員会の決議において、複数国にまたがる一連の構成資産が形成する顕著な普遍的価値への影響を考慮した遺産影響評価の実施等が求められ、課題への取組状況等について、令和 2 年 12 月までに、ユネスコ世界遺産センターへ提出することが求められた。
- ・ 緩衝地帯内の J R 上野駅公園口前における J R 東日本、東京都、台東区の 3 者による駅舎及び駅前空間整備計画が進行中である。顕著な普遍的価値に対して負の影響を与えないよう、文化庁、国立西洋美術館とも情報共有し、事業主体の 3 者間で協議しながら引き続き工事が進められる。
- ・ 国立西洋美術館活用・公開方針検討委員会において、国立西洋美術館全体及び前庭における整備方針が検討された。

【「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群】

- ・ 平成 30 年 7 月豪雨により、新原・奴山古墳群の 13 号墳及び 30 号墳の一部法面等の崩落が発生し、復旧事業を実施した。
- ・ 登録時の世界遺産委員会決議への対応に向けて、古代東アジアにおける航海や交流、祭祀等に係る国際検討会を実施した。
- ・ 大島の御嶽山山頂において、遺産影響評価を実施した上で、既存の展望台を撤去し、新たに景観に配慮した展望台を設置した。

【長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産】

- ・ 平成 30 年 7 月に世界遺産一覧表へ記載された。
- ・ 原城跡において、大雨による地すべりが数箇所発生したため土砂を除去するなど応急処置を行った。その後、ボーリング調査を実施し、復旧のための実施設計を行っている。
- ・ 長崎県内において、陸上風力発電及び洋上風力発電の開発計画があり、関係部局及び事業者と協議を行っている。